

大槌発

クレソンの収穫 最盛期

大槌町の金沢地区でクレソンの収穫が最盛期を迎えています。地域の特産品にしようと地区出身の女性3人が、春から栽培に取り組んでい



て、この日は30センチほどに育ったクレソンを手際よく収穫していました。このクレソン、しっかりした食感が特徴で、メンバーの一人は「みんながクレソンを食べて健康に元気になってくれれば」と話していました。(10/3 ニュース)

宮古発

4人の運転士デビュー



三陸鉄道で、女性1人を含む4人の運転士がデビューしました。4人は運転士候補生として去年4月に入社、今年6月に国家試験に合格しました。三陸鉄道では、JR山田線、宮古・釜石間が来年3月経営移管されることから増員を進めていて、1度に4人の運転士誕生は開業以来初めてです。(10/5 ニュースエコー)

コースはJR盛岡駅前から盛岡八幡宮までの5.7キロ。5つのボールを手渡ししながら進みます。スタートから2時間後、達増知事らが八幡宮の鳥居をくぐってトライ。参加者は目標を上回る2373人で、それぞれ1年後に迫ったビッグイベントをぐっと身近に感じたようです。(10/8 ニュースエコー)

盛岡発

W杯へ パスリレー



来年のラグビーW杯の釜石開催を盛り上げようと、6日、盛岡でラグビーボールのパスリレーが行われました。

コースはJR盛岡駅前から盛岡八幡宮までの5.7キロ。5つのボールを手渡ししながら進みます。スタートから2時間後、達増知事らが八幡宮の鳥居をくぐってトライ。参加者は目標を上回る2373人で、それぞれ1年後に迫ったビッグイベントをぐっと身近に感じたようです。(10/8 ニュースエコー)

陸前高田発

梯子の上で伝統の虎舞



陸前高田市広田町の鶴樹神社で4年に一度の例大祭が行われました。例大祭では、高さ18メートルの梯子の上で舞う伝統の虎舞

が奉納され、会場からは歓声と拍手が沸き起こっていました。300年続くというこの梯子虎舞。集まった人たちは妙技を楽しみながら、大漁や震災からの復興を祈っていました。(10/8 ニュース)

宮古発

『瓶ドン』の試食会

宮古で、新たなご当地メニュー「瓶ドン」の試食会が行われました。瓶に入った宮古の海の幸などをご飯にかけて



食べる「瓶ドン」。牛乳瓶入りのウニからヒントを得て開発され、9月から市内の6つの店で提供されています。タラ・イクラ・メカブが入ったものなど、それぞれの店が工夫を凝らしていて、試食した人たちの評判も上々でした。今後、参加する店舗も増える予定です。(10/10 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤 紗綾さんが、10月13日(土)14日(日)の2日間、宮古市民総合体育館で行われる「宮古市産業まつり」について伝えてくれました。市内の業者などが出店し、特産品などが販売されます。また、ステージイベントのほか、秋田県大仙市の「のろし花火」があがるのも見どころの一つです。「ぜひ、みなさん遊びにいらしてください」との事でした。(10/10)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122